

# JTAテニスルール変更（抜粋）

2023年度改正・追加

改正後	改正前
<p>誤ったコールを訂正した場合（クレーコートを除く） インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール（ミスジャッジ）したとしても「グッド」に訂正した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。</p>	<p>誤ったコールを訂正した場合 インだったボールを誤って「アウト」「フォールト」とコール（ミスジャッジ）したとしても「グッド」に訂正した場合は、1回目は故意ではない妨害としてポイントレットにする。</p>



# JTAテニスルール変更（抜粋）

2022年度改正・追加

改正後	改正前
<p>携帯電話、CDプレーヤーの利用 プレー中いかなる電子機器も使用することができない。 スマートウォッチは電源が切られた状態でも試合中の着用は認められない。</p>	<p>携帯電話、CDプレーヤーの利用 プレーヤーが、トランシーバー、携帯電話、CDプレーヤーなどを、試合中に使用することはできない。 偶発的に携帯電話が鳴った場合は、電源を切るか、マナーモードに再設定し、プレーの妨げにならないようにする。</p>
<p>ノーアド方式について ノーアドの試合では、レシーバーはコート右側か左側のどちらかでレシーブするかを速やかに選択しなければならない。 一度選択した後に変更することはできない。 デュースの後、ノーアドでプレーすべき所をレシーバースチョイスなしでデュースコートから1ポイントをプレーし間違いに気が付いた場合は、その結果をそのまま成立させ、そのゲームは終了したものとする。</p>	<p>ノーアド方式について ノーアドの試合では、レシーバーはコート右側か左側のどちらかでレシーブするかを速やかに選択しなければならない。 一度選択した後に変更することはできない。 誤りに気がついたときアドバンテージ A なら、もう1ポイントプレーする。 a 次に、A が取ればゲーム A で終了する。 b 次に B が取ればデュースになり、ここでノーアドに切り換える。</p>
<p>着替え 着替えはセットブレイク時、女子はトイレットブレイクを使ってコートから離れることが許されるが、男子はコート上での着替えに不都合がある場合に限りコートから離れることができる。 トイレットブレイクの時間は理にかなった時間内とする。</p>	<p>着替え 着替えはセットブレイク時、女子のみコートから離れることが許されるが、男子は着替えのためにコートから離れることはできない。 トイレットブレイクの時間は男女とも理にかなった時間内とする。</p>



# JTAテニスルール変更（抜粋）

2022年度改正・追加

改正後	改正前
<p>ロゴの規定 13cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを前後どこにでも 2つ、または26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。<b>レギングスには13cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。</b> <b>太ももの中央よりも長い丈のレギングスは、スカートやパンツ無しでの着用可。その場合は、13cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを2つまたは、26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。</b></p>	<p>ロゴの規定 13cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを前後どこにでも2つ、または26cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。レギングス及びコンプレッションシューズには、13cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。文字を入れても良い。</p>
<p>ロゴの規定 リストバンドは19.5cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。 <b>帽子・ヘッドバンドは 19.5 cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。</b> 19.5cm<sup>2</sup>以内のコマーシャルロゴを頭部の側面に1つ。</p>	<p>ロゴの規定 リストバンドは19.5cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを1つ。帽子・ヘッドバンドは19.5 cm<sup>2</sup>以内の製造業者ロゴを前に1つ。19.5cm<sup>2</sup>以内のコマーシャルロゴを頭部の側面に1つ。</p>
<p>コーチング及びコーチ チーム対抗戦においては、エンドチェンジの90秒間、セットブレイクの120秒間には、<b>コート上のベンチにいる</b>キャプテンからコーチングを受けることができるが、キャプテンに悪質なコード違反があった場合は、1回目、2回目は警告、3回目は退場となる。 退場の場合、その試合の代理は認められない。</p>	<p>コーチング及びコーチ チーム対抗戦においては、エンドチェンジの90秒間、セットブレイクの120秒間には、ベンチにいるキャプテンからコーチングを受けることができるが、キャプテンに悪質なコード違反があった場合は、1回目、2回目は警告、3回目は退場となる。 退場の場合、その試合の代理は認められない。</p>
<p>タッチのコールをするときの判定基準 プレー中にプレーヤーがネットに触れた場合、またはプレー中のボールがプレーヤーに触れた場合、またはプレーヤーが対戦相手のコートに触れた場合にコールする。 プレーヤーとはプレーヤーが身につけている物および持っている物を含む。</p>	<p>タッチのコールをするときの判定基準 プレー中にプレーヤーがネットに触れた場合、またはプレー中のボールがプレーヤーに触れた場合、またはプレーヤーが対戦相手のコートに触れた場合にコールする。 プレーヤーとはプレーヤーが身につけている物および持っている物を含み、<b>ただし手に持ったラケットがプレー中のボールに当たった場合を除く。</b></p>



# JTAテニスルール変更（抜粋）

2020年度改正・追加

改正後	改正前
<p>連続的プレー ポイントとポイントの間は<b>25</b>秒以内とする。</p>	<p>連続的プレー ポイントとポイントの間は20秒以内とする。</p>
<p>コンタクトレンズとメガネ 試合中、コンタクトレンズを落としてしまった場合は、理にかなった時間内で、付近を探すことができる。また、代用品のメガネまたは、コンタクトレンズが会場内であれば、「用具の不具合」として、理にかなった時間内で、取りに行くことができる。 <b>メガネあるいはコンタクトレンズを着用して試合を行っているプレーヤーは、それらが破損した、または汚れて不具合になった場合、理にかなった時間でコートから離れて取り替えに行くことができる。</b></p>	<p>コンタクトレンズとメガネ 試合中、コンタクトレンズを落としてしまった場合は、理にかなった時間内で、付近を探すことができる。また、代用品のメガネまたは、コンタクトレンズが会場内であれば、「用具の不具合」として、理にかなった時間内で、取りに行くことができる。ただし、落とした時点でコンタクトレンズを紛失、またはメガネ、コンタクトレンズを破損した場合に限る。理由なく取り替えたい、あるいは汚れたという理由では、コートから離れて取り替えに行くことは出来ない。</p>
<p>インプレー中、コート上にあるボールを蹴飛ばした場合 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォルトのボールを誤って蹴飛ばした場合、チェアアンパイア（チェアアンパイアがつかない試合では相手プレイヤー）がプレーを妨害したと判断した場合、「レット」をコールすることができる。 <b>2回目以降は、その度に相手への故意の妨害となり、失点する。</b></p>	<p>インプレー中、コート上にあるボールを蹴飛ばした場合 第2サービスからのインプレー中、第1サービスのフォルトのボールを誤って蹴飛ばした場合、チェアアンパイア（チェアアンパイアがつかない試合では相手プレイヤー）がプレーを妨害したと判断した場合「レット」をコールすることができる。</p>
<p>タイムバイオレーション サーバーがサーブしようとした時には、レシーバーはサーバーの理にかなったペースに合わせて、レシーブの構えをしなければならない。スローペースのプレー（<b>25</b>秒、90秒、120秒ルールの違反）に対しては、タイムバイオレーションが科される。1回目はウォーニング（警告）、2回目以降は<b>サーバーかレシーバーかによって以下のように科される。</b> ・サーバーは<b>1</b>ポイントが科される。 ・レシーバーは<b>1</b>ポイントペナルティが科される。</p>	<p>タイムバイオレーション サーバーがサーブしようとした時には、レシーバーはサーバーの理にかなったペースに合わせて、レシーブの構えをしなければならない。スローペースのプレー（25秒、90秒、120秒ルールの違反）に対しては、タイムバイオレーションが科される。 1回目はウォーニング（警告）、2回目以降はその度に1ポイントを失</p>

